

展示室 1 イギリスの版画



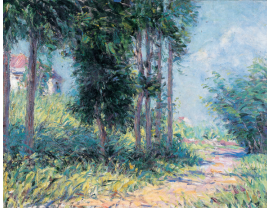
J.M.W. ターナー  
「ネッカー川対岸から見たハイデルベルク」

当館が所蔵する近代イギリス美術のコレクションのうち、18 世紀から現代に至る版画をご紹介します。イギリス近代絵画の父と称されるホーガースは、イタリアやフランス美術が優勢であった 18 世紀前半に、イギリスにおける美術の隆盛に貢献しました。彼は当時の庶民生活を風刺し、社会問題を鋭く指摘しました。19 世紀に入ると、ターナーとコンスタブルが、自国の自然に美を再発見し、風景画というジャンルをイギリス美術の特色として打ち立てました。20 世紀には、イギリス彫刻界を代表するケネス・アーミティジらが現代社会における人間、自然を、ときにユーモアをもって描きました。

自らの文化の確立をめざし、それを世界に発信し続けるイギリスは、私たち日本人にとって、単に異文化理解にとどまらない、人生観、自然観に関わる大きなメッセージを与え続けているように思えます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホーガース	当世風結婚 第 1～6 場	1745	エッチング・紙
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』挿絵より 3 点	1825	ラインエングレーヴィング・紙
ジョン・セル・コットマン	カークストール城	1815	エッチング・紙
トマス・ガーティン	パリの全景		エッチング・アクアチント・紙
トマス・ガーティン	テュイルリーの眺め		エッチング・アクアチント・紙
J.M.W. ターナー	ネッカー川対岸から見たハイデルベルク	1846	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より 荒野（ヒース）		メゾチント・紙
ジョン・クローム	マウスホールド・ヒース、ノリッジ	1810 頃	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	疲れ果てた農夫（牧夫またはタードゥス・ブブルクス）		エッチング・紙
オーブリー・ピアズリー	『ブルーフ集』より アリ・ババ	1896	ラインブロック・紙
J.A.M. ホイッスラー	ラルエット坊や	1859	エッチング・紙
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ	自画像		エッチング・紙
フランク・ブランギン	市場		エッチング・紙
フランク・ブランギン、漆原木虫	夜景（用水地）		木版・紙
フランク・ブランギン、漆原木虫	夜景（馬車）		木版・紙
シリル・エドワード・パワー	地下鉄の階段	1929	リノカット・紙
シリル・エドワード・パワー	エレベーター	1930	リノカット・紙
パトリック・コールフィールド	ジュール・ラフォルグの詩（A 版）より 4 点		シルクスクリーン・紙
ウィリアム・スコット	ホワイトボウルとブラックパン	1970	シルクスクリーン・紙
ケネス・アーミティジ	リッチモンド・オーク	1975	エッチング・紙
デイヴィッド・ホックニー	『放蕩者のなりゆき』より 4 点	1961～1963	エッチング、アクアチント・紙
ヘンリー・ムーア	『スカルプチャー・アイデア』より 1 点	1980	エッチング、アクアチント・紙
ヘンリー・ムーア	『エレファント・スカル・アルバム』より 1 点	1970	エッチング・紙
● 9 月 21 日（予定）まで展示			
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ウィリアム・ホーガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758～60 頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
● 9 月 22 日（予定）から展示			
J.M.W. ターナー	カレー沖の釣船（ドーバー海峡）	1830	メゾチント・紙
J.M.W. ターナー	ポッカチオの庭（鳥かご）	1830	メゾチント・紙
J.M.W. ターナー	エディスタン灯台	1824	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	虹、ソールズベリー大聖堂	1834～7	メゾチント・紙
ジョン・マーティン	ノアの大洪水	1828	メゾチント・紙
ジョン・マーティン	光の創造	1825	メゾチント・紙

## 展示室2 明治・大正の油彩画



栗原忠二  
「風景（ヨーロッパ風景）」

幕末から流入してきた西洋画は、日本人にとってとても魅力的なものでした。日本人は、まるでそこにあるかのように描かれた西洋画を見て、額縁の中の世界が自分たちが生きている世界と地続きであるかのように錯覚することさえありました。一方、特に油で溶いたネットリした絵具を用いて絵を描くことはとても体力のいる仕事です。

今回は、明治・大正の油彩画を特集し、そのネットリした絵肌を観察してみてください。油絵具という素材と格闘している日本人の姿が、筆の痕跡から浮かび上がってくるでしょう。その痕跡は、時代を経るに従って大きく、荒々しくなってきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
木村荘八	祖母の顔	1916(大正5)	油彩・板	
林 倭衛	机上のリンゴ	1918(大正7)	油彩・板	
曾宮一念	静物	1918(大正7)	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
梅原龍三郎	静物		油彩・キャンバス	
田辺 至	風景	1923(大正12)	油彩・板	
間部時雄	カーニユにて	1923(大正12)	油彩・スケッチボード	
山本芳翠	園田銚像	1885(明治18)	油彩・キャンバス	
浅井 忠	収穫	1893(明治26)頃	油彩・紙、板	
広瀬孝次	田園景色	1890(明治23)	油彩・キャンバス	
高橋勝蔵	桃と葡萄	1909(明治42)頃	油彩・キャンバス	
白滝幾之助	編物をする少女	1895(明治28)	油彩・キャンバス	
中沢弘光	灯(加茂川夕涼)	1914(大正3)	油彩・キャンバス	
南 薫造	印度アグラの聖地	1916(大正5)	油彩・キャンバス	
小出橋重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス	
中川一政	冬の郊外(葱畑)	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス	
中川紀元	赤い下着	1920(大正9)	油彩・キャンバス	(株)興新産業寄贈
小山敬三	風景	1922(大正11)	油彩・キャンバス	
恩地孝四郎	黒い机		油彩・キャンバス	
中村 彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス	
満谷国四郎	冬	1922(大正11)	油彩・キャンバス	
栗原忠二	風景(ヨーロッパ風景)		油彩・キャンバス	

## 展示室3 郡山の美術



三木宗策 威容抱慈(坂上田村麻呂像)

厳しい冬が終わり、花々が一斉に咲く春から、暑い夏へ。豊かな自然の生命力に圧倒されます。秋は実りの季節。やがてまた冬を迎える季節の移るい—ここでは、私たちが暮らす郡山の風土に育まれた美術をご覧ください。郊外に残る古墳をはじめとして開発によって明らかになった遺跡には、古くからこの土地に暮らしてきた先人がいたことが窺われます。私たちの生活がこうした歴史や風土のうえにあるように、作家たちもそれらをバックボーンにして、それぞれの表現を模索し、作品を生み出しているのです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
三木宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	1924(大正13)	木彫	
丸樹長三郎	おろかなりし歴史	1945(昭和20)	油彩・キャンバス	丸樹敏男氏寄贈
吉井 忠	敗れたる風景	1946(昭和21)	油彩・キャンバス	吉井忠氏寄贈
青津清喜	枯れた花の生物	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	
水田荘介	青衣の女	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	

作者名	作品名	制作年	技法・形状	
土橋 醇	イル・ド・フランス	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	
常盤大空	殷賦考	1962(昭和37)	岩彩・キャンバス	
黒沢吉蔵	冬	1964(昭和39)	紙本着色	
安藤重春	皎	1987(昭和62)頃	紙本着色	安藤ヒサヨ氏寄贈
佐藤静司	フルーティスト	1976(昭和51)	木彫	
芳賀忠行	虚構の風景―城	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	
鎌田正蔵	鳥が落ちる(86.4.26の記録)	1986(昭和61)	アクリル・キャンバス	
深沢軍治	庭先植物生態学(B)	1984(昭和59)	油彩・キャンバス	
岩谷徹	落日―森	1985(昭和60)	メゾチント・紙	
安部直人	まなざし	1990(平成2)	エッチング、メゾチント・紙	
安部直人	転生	1994(平成6)	エッチング、メゾチント・紙	
安部直人	孤球(TAMA)	1995(平成7)	エッチング、メゾチント・紙	
佐藤昭一	シリーズ透過02	2002(平成14)	アクリル・キャンバス	

## 展示室4 版画のいろいろ



キヨソネ、エドアルド  
「日本銀行兌換券壹円」

版画は、直に筆などで描く油彩画や日本画とは違い、版を制作し（製版）、別の素材に写し取ることによって完成する画です。版画には木版、銅版、リトグラフ、シルクスクリーンなどの版種があり、それぞれ表現の特質が違います。版画は同じものがたくさん作れる性質から、いろいろな用途に使われてきました。今回は、当館の日本版画のコレクションから、明治期から現代までの幅広いジャンルの作品をご紹介します。多種多様な「版」の世界をお楽しみください

作者名	作品名	制作年	技法・形状	
亜欧堂田善	『新鑄総界全図付・日本境界略図』	1809(文化6)	銅版・紙	
松田緑山	大日本政府公債証書 金三百円	1872(明治5)	銅版・紙	
エドアルド・キヨソネ	日本銀行兌換券壹円	1888(明治21)	銅版・紙	
エドアルド・キヨソネ	一銭印紙		銅版・紙	
加藤新太郎	童児狐拳之図	1889(明治22)	石版・紙	
藪崎芳次郎	東美人	1889(明治22)	石版・紙	
駒井哲郎	暑中見舞(手)	1961(昭和36)	エッチング・紙	
駒井哲郎	Fevrier 霰(個展案内状)	1960(昭和35)	エッチング・紙	
斎藤 清	AWAJI DOLL(1)		木版・紙	
吉田穂高	昼の国々	1966(昭和41)	木版・紙	
	『金石一覽図解(上)』	1883(明治16)刊	石版・紙/本	
	『高等小学校読本』	1888(明治21)刊	木版・紙/本	
	『国華余芳・伊勢内外神宝部』印刷局蔵版	1880(明治23)	石版・紙	
	『西洋画譜(第九帙)』「日本名将図絵」		石版・紙/ポートフォリオ	
	『日本重要少産動植物図』	1897(明治30)刊	石版・紙/本	
	『HANGA』第七輯	1925(大正14)	木版・紙/ポートフォリオ	
	『HANGA』第十一輯	1926(大正15)	木版・紙/ポートフォリオ	
	『版芸術』第十六号(戦争版画集)	1933(昭和8)	木版・紙/本	
	『版芸術』第十九号(続全国郷土玩具版画集)	1933(昭和8)	木版・紙/本	
	『日本のポスター100』復刻版より	1995(平成7)	印刷・紙	凸版印刷株式会社寄贈
	東京オリンピックポスター			
	資生堂夏のキャンペーンポスター			
	VAN 春夏キャンペーンポスター			
	北辰画廊展覧会ポスター			

## 展示室4 涼を求めて



「ルーマー杯・なみなみのワインを」

ガラスのもつ特質のひとつ、それは冷涼感です。ガラスは、明治以降にイギリスやドイツからの技術輸入で日本でも大量に作られるようになって、一般庶民にも普及しましたから、西洋的な素材というイメージもありますが、江戸時代にはすでに、江戸や大坂（大阪）のような消費地や長崎などで製造され、一部の富裕層では夏用の器として重宝されていました。ガラスは、西欧よりはるかに蒸し暑い日本の夏にこそ似合う素材なのかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973～6(昭和48～51)頃	宙吹き・サンドブラスト	(株)ノリタケクリスタル寄贈
佐藤潤四郎	花器		宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	花器		宙吹き	
佐藤潤四郎	ブルー花器		宙吹き	
佐藤潤四郎	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	宙吹き	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	ウイスキーボトル『インベリアル』		機械吹き	サントリー(株)寄贈
佐藤潤四郎	ガラスの神様文瓶		宙吹き・グラヴェール、ブランツ	
佐藤潤四郎	クリスタル六角鉢		宙吹き	
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	宙吹き	石井謙治氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		宙吹き・ブランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹き・グラヴェール、ブランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		宙吹き・ブランツ	
佐藤潤四郎	フンペングラス	1975(昭和50)頃	宙吹き	小林東洋氏寄贈
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	宙吹き・グラヴェール、ブランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	大杯・ワインを造る		宙吹き・グラヴェール、ブランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	葡萄文ワイングラス		宙吹き・グラヴェール	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹きなど	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	水指(魚)	1986(昭和61)	型吹き	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	宙吹き・ブランツ、雲母封入	
佐藤潤四郎	舍利器		宙吹き・カレット融着	
佐藤潤四郎	舍利器		宙吹き・ブランツ、気泡封入	
佐藤潤四郎	魚(オレンジ)	1973～6(昭和48～51)頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	魚(ブルー)	1973～6(昭和48～51)頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	置物・花	1954(昭和29)頃	サンドブラスト	
佐藤潤四郎	ロンドンの屋根		ドローイング	寄託作品
佐藤潤四郎	ガラス作業之図		ドローイング	田淵十一氏寄贈
各務鏡三	クリスタル花器《鱗影》	1970(昭和45)頃	宙吹き・気泡封入、グラヴェール	田淵十一氏寄贈
吉田丈夫	クリスタル瓶《瓢》		宙吹き	田淵十一氏寄贈

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
アントニー・ゴームリー	量子雲X X III / 領域X III	2000	ステンレス、スチール棒	
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
●2階展示ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2 / 石で仏足跡		陶器 / 石	寄託作品
堀内正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント	
三坂耿一郎	まとう	1967(昭和42)	ブロンズ	
清水多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ	
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	